

新春特集

新年生活と 「白い森おぐに」

で暮らす未来

あけましておめでとうございます。
今年は午年（うまどし）です。午年はエネルギーあふれる情

熱的な年になるとともいわれています。
今月は、町内で結婚され新生活を始めたご夫婦にお話を
お聞きし、小国で新たな生活の様子や、やつてみたいこと、将
来に向けた思いなどについてうかがいます。



ゆうすけ
富山祐介さん（栃木県出身）
なな
菜々さん（滋賀県出身）ご夫妻

～今年の抱負～
「毎日全力想いやり！
幸せを感じる心を大切に楽しむ！」

「小国で結婚したきっかけ」
祐介さん 菜々さんは、「おぐにマルチワーク事業協同組合（以下、おぐマル）で働いている中で知り合いました。おぐマルの活動では、メンバーが個別に面談する場があり、そこで菜々さんと、互いに本音を話すと、共感できる点が多くたり、小国で何かを見つけたいという思いを互いに持っていたりして、この人と一緒に過ごしていきたいと思うようになりました。

菜々さん 私は、おぐマルで3年間活動したのち、いつたんは地元の滋賀県に戻り、自分がやりたいことをやろうと考えていました。祐介さんはおぐマル退職前にお付き合いを始め、退職後小国へ遊びに行つた際に祐介さんからプロポーズを受け、小国で2人で過ごそうと決めました。

祐介さん 2人とも、おぐマルで活動していたこともあり、町民のかたとも関わる機会が多くありました。



「これからやつてみたいこと」
菜々さん 初めて来た時から、小国はお米や山菜などの食べ物が美味しいと思っています。がしやすかったです。今も私たちのイメージ通り暮らすことができています。

菜々さん 結婚してあらためて感じたことは、小国のかたは、周りの人を巻き込んで迎え入れてくれることです。祐介さんがお世話になっている空手教室の先生が、結婚後は私のことも食事に誘ってくれるなど、多くのかたの温かい気持ちに日々感謝しています。

「将来に向かって」
祐介さん お互い自分探しのために来た小国で、まさか最愛のパートナーに出会えるとは思っていなかつたので、小国町には感謝しています。現在、私たちはおぐマルの派遣先であるホテルでオーナリングスタッフとして働いています。2人とも経験がないことに取り組み、忙しい日々を過ごしています。こうした中で、私たちを結び付けてくれたおぐマルや小国町に少しでも貢献できるよう、多くのかたに来ていただけるホテルづくりをしていきたいと思っています。仕事も人生も二人三脚。2人で足並みを揃えて一緒に生きていることを感じながら過ごしていきたいです。

物が美味しいと思っています。私たちも食べる事がとても好きなので、これからは小国や山形の食にもっと触れてみたいですね。冬の小国の中で、2人ともワカサギ釣りをまだ体験したことがないので、体験してみたいと思っています。



**今野 輝さん（小国小坂町出身）
ちか 知佳さん（岩手県出身）ご夫妻**

～今年の抱負～
「いろんなことに挑戦！喜びも
課題も分かち合い全力で楽しむ！」

「小国で結婚したきっかけ」
輝さん 私は、もともと小国を離れて生活するという選択肢がなかったので、結婚も小国でしようと決めていました。知佳さんは仕事の研修で知り合い、一緒に時間を過ごす中で、「この人しかいない！」と思いプロポーズしました。

知佳さん 私は、岩手県出身で、大学進学を機に山形に来ました。正直、進学当時は小国町という町があることも知りませんでした。就職後、輝さんとお付き合いをする中で、小国のいいところを多く聞く機会があり、とても魅力的に感じました。昨年までは職場の関係で平日を米沢市で過ごし、週末は小国で過ごす生活をしていましたが、今年からは小国で生活を送る予定です。今から小国での生活が楽しみです。

「新生活を始めてわかつたこと」
知佳さん 小国に来てわかつたことは、輝さんご家族をはじめ、町民のかたがとても優しく接し

てくれることです。ご家族が温かく迎え入れてくださったことはとても嬉しく、今後の生活を考えるうえでも安心しました。また、輝さんから、小国では町民のかたが地域ぐるみの行事に積極的に参加していると聞いているので、私もこれから一緒に参加したいと思っています。

「これからやってみたいこと」
輝さん 地区のスポーツ協会のイベントがとても楽しく充実しているので、地区対抗のスポーツ大会に一緒に参加して、夫婦の絆はもとより、地域との交流をさらに深めていきたいです。

知佳さん 小国の花火大会を一緒に見に行きたいです。夏だけでなく、冬の花火も開催されることがあると聞いたので、花火を見ながら、小国の冬を存分に味わいたいと思います。

「小国で過ごす将来像」
知佳さん 私はずつと保育士として働いてきたので、これからは小国で保育士として働

くことができればいいなと思っています。小国の子どもたちやその家族とのふれあいを通して広く関わりを持つたいです。

「輝さん 地区のイベントでは、子どもからお年寄りのかたまでいろいろな人と触れ合うことができるので、こうした小国ならではの機会を2人で大切にしていきたいです。そして、小国で子育てしながら、楽しく日々を過ごしていきたいと思います。





ようへい 安部洋平さん（長沢出身） あみさん（縁町出身）ご夫妻

～今年の抱負～

「素直に気持ちを伝え合える夫婦」

「小国で結婚したきっかけ」
洋平さん あみさんとは中学・高校の同級生で、卒業後にお付き合いを始めました。私は結婚するなら、ともに生活を送る未来が想像できる人と結婚したいと考えていて、お付き合いをする中で、あみさんがそのお相手だと思い、結婚しました。

あみさん 私は、卒業後は町外で仕事をしていましたが、一人暮らしがさびしく感じて、自分に合わなかつたということもあり、実家のある小国に戻ってきました。また、当時から洋平さんとお付き合いをしていたので、小国に戻ってきたら結婚に進展するのではないかと思つたのも理由の一つです。洋平さんと過ごしている時は、誰にも見せることのない、ありのままの自分でいることができています。

もつて生活できていると思います。家族が1人増えたことをみんな嬉しく思っている様子で、あみさんもすぐに家族になじんでいました。

あみさん 洋平さんの実家で生活するようになってから、日常生活がとてもぎやかになります。また、初めて地区の行事である花植えに参加した際に自己紹介と結婚報告をすると、周辺で若い人が結婚したことが十数年近くなかつたうえに、実家に入つたということで、地域のかたに大変驚かれました。同時に私たちを温かく迎え入れてくれて嬉しかつたです。

さる町民のかたの期待に応えられるよう、親切なサービスをモットーに仕事をして、町に貢献していきたいです。

あみさん 今の環境がとても気に入っているので、これからも小国、そして洋平さんの実家で暮らしていくればと思っていました。子どもも2人くらいはほしいと思うし、地域のことも知つていきながら、もっと溶け込んで、一緒に行事などにも参加して地域を盛り上げていきたいです。

「新生活を始めてわかつたこと」
洋平さん 今は、私の実家と一緒に暮らしていますが、実家といふこともありお互い安心感を

洋平さん 私は今、町内で自動車整備士として働いています。今年から、父が2社経営する自動車整備工場のうち、1社の業務全般を任されることとなりました。これまで以上に責任は大きくなりますが、自分にとっては大きなモチベーションになっています。工場を利用していくだ

